

重要取組シート 文化観光局 歴史遺産活用部 博物館 学芸課

取組項目		(仮称) 堺ミュージアムの整備
現状・課題		<p>○施設・設備面</p> <ul style="list-style-type: none"> 堺市博物館の施設・設備については老朽化が顕著であり、随時補修等の対応をしている。また現在常設展示スペースしかなく、企画展・特別展の開催にあたっては、設計上来館者の利便性や展示資料・作品の盗難等の恐れなどの課題がある。 博物館の常設展示において、堺の通史の中でも、とりわけ世界文化遺産「百舌鳥・古市古墳群」やその他の古墳、また、重要な位置づけの「中世堺」について、より充実した展示解説が必要。 堺 アルフォンス・ミュシャ館は、美術館として求められる施設の水準を満たしていない。またカフェの併設やミュージアムグッズの充実も必要。 <p>○機能面</p> <ul style="list-style-type: none"> 堺の歴史文化の魅力を分かりやすく伝えるための調査・研究を深めることが必要。 改正博物館法において示されているとおり、市民交流・市民参画など、様々な主体が博物館運営に関わる必要性が増している。
取組の内容		<p>○堺市博物館や文化館（堺 アルフォンス・ミュシャ館）等の既存施設のあり方に加え、百舌鳥古墳群や、アルフォンス・ミュシャ作品など本市が誇る歴史文化の示し方について検討を進める。</p> <p>○民間事業者に対し、大仙公園エリアにおける施設整備や既存施設の活用方策についてのヒアリングを実施する。</p> <p>○新施設における具体的な展示のイメージに結び付けることを念頭におきながら『中世堺における歴史文化に関する学際的研究』について、外部研究者を含めた共同研究を行い、海外を含む他地域との交易など、展示計画の土台となる学術的かつ最新の調査成果を蓄積する。</p>
スケジュール	前期 (～7月)	<input type="checkbox"/> (4月～) 中世堺に関する共同研究の実施 <input type="checkbox"/> (4月～) 新施設における歴史文化資源の活用方策の検討 民間事業者へのヒアリングの実施
	中期 (～11月)	<input type="checkbox"/> (～11月) 中世堺に関する共同研究の実施 <input type="checkbox"/> (～11月) 博物館と文化施設・歴史文化の示し方検討の中間とりまとめ
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> (～2月) 中世堺に関する共同研究成果の報告 <input type="checkbox"/> (～2月) 博物館と文化施設・歴史文化の示し方検討の取りまとめ
	次年度以降	<input type="checkbox"/> (4月～) 新テーマによる中世堺に関する共同研究の実施
進捗の状況	前期 (～7月)	
	中期 (～11月)	

	後期 (~3月)			
2025 堺市基本計画	該当する 施策	1- (1) 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の継承と魅力の創出		
	寄与する KPI	大仙公園エリアへの来訪者数 [現状値：29.4万人 (2019年度)]		目標値 (2025 年度) 60.0 万人
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 8	働きがいも 経済成長も	
	寄与する KPI	—		目標値 (2023 年度) —